

拝啓 時下ますますご清勝のこととお喜び申し上げます。

この度は、相馬広域心のケアセンターなごみ並びにパンダハウスを育てる会に対するご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

特にパンダハウスにつきましては、去る8月3日に御社の岡本様を始め、多くの皆さんが掃除のボランティアにご参加いただいたとのこと、重ねて御礼申し上げます。

これらのNPOは、小児がんを始めとする難病患者家族のケアや、被災者の心のケアなど、公的なサービスを期待できない分野において、自主的、自発的に社会的な使命の達成に向けた活動を懸命に行ってきたところです。只、震災から2年4カ月が過ぎ、被災地ボランティアの減少がその運営の大きな課題となっております。

このような中、会社を挙げてボランティアを募ってのご支援、NPO職員のみならず本学職員一同大変心強く感じております。志を継続するのは、他人への共感です。それだけにこの度の御厚意に心から感謝しております。

本学でも、県民健康管理調査事業の実施を始め、放射線医学の教育・研究・医療体制の整備など、県民を始め国民の健康保持・増進に向けた福島県の新たな取組みの中核に位置付けられており、引き続き、この歴史的使命を確実に果たしていく覚悟でおります。

この先も長く、そして厳しい闘いとなります。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

敬 具

平成25年8月6日

ストライカー・メドテック株式会社
常務取締役 事業所長 糠野博一 様

公立大学法人福島県立医科大学理事長

名 氏 一